



自ら楽しみを創る子どもの育成

5月より、縦割り班掃除が始まりました。校長室にも3名の子どもたちがきてくれています。6年生のリードで、1・2年生の二人もしっかり「なのみ拭き」で床をピカピカにしてくれています。頼もしい「なのみっ子」です。



運動会に向けて、最後の最後まで頑張っています！

116なのみ運動会まで、練習も残りわずかとなりました。本年度の運動会のスローガンは、「最後まで 赤青黄心を一つになのみっ子」です。運動会に向かって気持ちがそろい、動きがそろっていく子どもたちの真剣な姿に胸が熱くなります。残りわずかの練習ですが、最後まで心を一つに頑張っていきたいと思います。また、運動会に向けて、日々頑張ろうと思っている子どもたちや不安を感じている子どもたちもいることでしょう。ぜひ、ご家庭での労いや励ましの声かけをお願いします。

今までありがとう!～「土俵」から「なのみ農園」へ～

昭和56年、高砂部屋の力士を迎えての「土俵開き」から43年目を迎えました。心身共にたくましく育てほしいといった地域の願いのもと土俵が造られ、子どもたちはこの場所で、相撲に取り組んできました。しかし、近年は、コロナ禍の影響で相撲を行うことができず、また、老朽化に伴い、屋根の柱が傾き始め危険な状態となりました。このような状況を踏まえ、安全面や今後の有効活用について協議を重ね、土俵を撤去することとしました。撤去後は、なのみ農園とし、子どもたちが野菜を育て、収穫する学びの場として活用していきたいと考えてます。また、農園の周りには、屋根の梁や柱を活用しベンチとして残したいと考えてます。さらに、これまで、教育活動を支えてきた土俵の功績を記すために、看板設置を検討しています。

そして、これからも「土俵」に対する地域の願いを受け継ぎ、「なのみ農園」として有効活用を図っていききたいと思います。



土俵跡地（農園に向けて整備中）

3年生「人権の花」運動 開会式

5月7日、3年生による「人権の花」運動開会式が行われました。「人権の花」運動は、子どもたちが協力し、ひまわりの花を育てることにより、優しさや思いやりの心を培い、命の大切さを学ぶ取組です。開会式では、福岡法務局の方や朝倉人権擁護委員さんにお越しいただき、子どもたち進行で会を進めました。その後、子どもたちは、いただいたひまわりの種を蒔き、これから大きな花を咲かせるまでお世話をしていきます。たくさんのひまわりの花で学校が囲まれることを楽しみにしています。



人権の花「ひまわり」の種を蒔く3年生

人権の花運動は、主に小学生を対象に児童が協力して花を育てることにより、生命の尊さを実感する中で、豊かな心を育み、やさしさと思いやりの心を体得してもらうことを目的としています。

福岡県内においては、「ひまわり」が「人権」のイメージに合っているという理由等により人権の花に選ばれています。

みんなで「人権」という花を大きく育てましょう。

